

さいたま 来ぶらり通信

Contents

動物愛護ふれあいセンター …… 1,2

本棚ぶらり テーマ「動物」 …… 3

第25回現代短歌新人賞/図書館ホームページ さいたま市ゆかりの文学者たち …… 4

わがまち

はっけん

Sai発 

動物愛護ふれあいセンター

～動物たちとのつきあいかたを考える～



近年、動物に対する接し方や価値観の多様化により、動物を単なるペットでなく、家族の一員として飼う人が増えています。一方で、動物虐待などのトラブルも問題視されています。みなさんと動物が気持ちよく過ごすためにはどのように考えればよいのか、桜区にある動物愛護ふれあいセンターに取材に行ってきました。

動物愛護ふれあいセンターってどんなところ？

動物愛護ふれあいセンターは、平成18年6月に桜区に開設されました。センターでは、動物愛護の思想や適正な飼養に関する知識の普及・啓発に加え、犬の登録や狂犬病予防接種、動物取扱業の登録・監視、収容した動物の管理、譲渡などを行っています。また、市内の飼い主のいない猫に対する去勢・不妊手術等の一部助成事業も行っています。

センター建物内には、収容した動物のための手術室や処置診療室、保護室のほか、展示ホールや講習会室などが整備されています。



どのような動物が収容対象なの？

センターで取り扱う動物は、ほ乳類、鳥類などペット動物で、野生の動物は対象外です。収容するのは、犬が放浪していて飼い主が見つからない、猫が負傷してい

て治療が必要などのやむをえない場合のみと決められています。センターでの治療等により元気になった後、希望者に直接譲渡されたり、動物愛護団体を通じて引き取られたりしていきます。もし収容動物の譲渡を希望される場合には、センターで行われている譲渡前講習会を受ける必要があります。受講の後に譲渡会に参加できます。



どんな動物とふれあうことができるの？

センターでは、動物愛護の精神の普及を目指し、動物と直接ふれあう体験事業を行っています。このため、現在はふれあいの対象となる動物として4頭のモルモットを飼育しています。ふれあい体験は、火曜日から土曜日の13時から15時に1組10分で行います。その間は、モルモットを抱っこしたりなでたりしてふれあうことができます。予約は不要ですが、他事業との兼ね合いで中止になることもあります。





動物愛護ふれあいセンターのイベント

センターは、動物をテーマとした様々なイベントを開催しています。特に、犬や猫といったペットを対象にしたイベントが数多く行われています。

その中で、一年を通し定期的に行われているのがしつけ方教室です。年に8回程、外部の講師を招き、犬のしつけ方をテーマとした講座が行われています。モデル犬によるデモンストレーションが行われるものや、参加者ご自身のペットと一緒に、しつけを体験してもらうものもあります。

また、9月の動物愛護週間には動物愛護フェスティバルを開催しており、そこでは犬とのふれあいコーナーや乗馬体験など、様々なイベントが行われます。その一つ

として、前述した定期的な教室とは別に、犬や猫に対するしつけ方教室が開かれています。基本的な内容は外部の講師やセンターの職員による講義が



写真提供 動物愛護ふれあいセンター

中心ですが、実演を交えて行われるものもあります。

他に、市民の方からの依頼に応じ、出張講演も開催されています。こちらはその名の通り、センターの職員が依頼先に出向き、その場で行われる講演です。依頼元はマンションの管理組合、児童クラブ、PTAなど様々です。講演の内容は、ペットのしつけ方・飼い方など基本的な知識の他、ペットと防災の関係について、センターへの相談件数が多いペットに関するトラブルの防止方法についてなど、多岐にわたります。

取材協力

さいたま市動物愛護ふれあいセンター

〒338-0812 さいたま市桜区神田950-1

TEL 048-840-4150(休館日を除く 8:30~17:15)

FAX 048-840-4159

*開館時間、休館日情報等は
ホームページを確認してください。

<https://www.city.saitama.lg.jp/008/004/003/index.html>



センターの職員に聞いてみた！

動物愛護ふれあいセンターで働く職員に、普段の仕事や、市民の方々に伝えたいことについて、いくつか質問をしてみました。

Q:あまり知られていないセンターの利用方法について教えてください。

A:区役所と動物愛護ふれあいセンターでは、犬を飼い始める際に必要な、狂犬病予防法で義務付けられた登録手続きと、注射済票の交付手続きを受け付けています。センターでは土曜日にも受け付けているので、平日に時間が取れない人は、ぜひご利用ください。

Q:センターで働いている時、やりがいを感じられるのはどのような時か、教えてください。

A:センターに来た直後ひどいケガをしていた犬や猫が順調に元気になっていき、最終的に譲渡を受け入れてくれる飼い主が見つかった瞬間、やりがいを感じます。飼い主さんの中には半年後、1年後と写真を送ってくれる方もおり、うれしく感じることも多いです。

Q:市民の方々に伝えたいことがあれば、コメントをお願いします。

A:ペットは大切な家族であるということをお伝えたいです。最初に会った時、かわいいと思うのは普通です。しかしその時の感情のみで判断するのではなく、後のことも考え、一生大切に飼ってあげてください。



写真提供 動物愛護ふれあいセンター

本棚 ぶらり

テーマ 動物



『少年と犬』

はせせいしゅう
馳星周／著

文藝春秋 2020年



2011年の東日本大震災から2016年の熊本地震までの間、釜石から熊本まで5年をかけて旅を続けた犬《多聞》の物語。

多聞は旅の中で様々なパートナーと出会う。生活のために後ろ暗い仕事をする男、窃盗団の男、仲の冷え切ってしまった夫婦、大きな秘密を抱える娼婦、大病を患う不器用な老人、心を閉ざした少年。彼らは皆、普通の生活をしたいと願いながらもそれを実現できず、孤独にもがいて苦しんでいる。そんな彼らに賢く誇り高い多聞は静かに寄り添い、束の間の共同生活の中で絆を深めていく。多聞が彼らの助けを必要としていたように、彼らもまた多聞の存在を必要としていたのだ。

『人の心を理解し、人に寄り添ってくれる。こんな動物は他にはいない。』(本文より抜粋)

犬とのかかわりが、人々に安らぎと勇気を与えてくれる一冊。

『動物たちの悲鳴が聞こえる それでも命を買いますか？ 続』

すぎもとあや
杉本彩／著

ワニ・プラス 2020年



2019年の動物愛護法の改正で、動物虐待が厳罰化された。この法改正に関わってきた著者が、改正のポイントを解説し、まだまだ問題点だらけの動物を取り巻く現状について切り込む。

殺処分ゼロのカラクリ、ペットショップでの悲劇、動物番組で人気の「保護犬」企画の実態等の動物愛護に関する問題点を指摘している。さらに、動物園や畜産動物、実験動物まで、様々な角度から指摘がなされている。

著者は、動物の幸せのため、動物本来の生態や要求、行動を尊重する考え方である「動物福祉(アニマルウェルフェア)」の実現、すなわち、動物の痛みを想像する力が必要だと説く。

その想像力を働かせて、動物と人間の共生関係について改めて考えてみてはいかがか。

『図書館ねこベイカー & テイラー 小さな町に奇跡を起こした2匹の物語』

ジャン・ラウチ／著
ライザ・ログック／著
はたしづこ
羽田詩津子／訳
早川書房 2016年



「図書館は人々に喜びを与え、猫に喜びを与える。人々は入ってきてはこう言う。『猫がここに住んでいるんだよ』これ以上に素晴らしいことがあるだろうか？」本書の中で紹介されている、作家キャロル・ウィルボーンという言葉である。

小さな町の新しい図書館に「ネズミ捕獲係」として雇われたスコティッシュフォールドの「ベイカー」と「テイラー」。2匹はたちまち人気を呼び、図書館の貸出数を増加させただけでなく、書籍卸売会社から名前をもらったことで同社のマスコットとなり、やがてアメリカ中で知られるようになっていく。

長年2匹の「お母さん役」を務めた司書が、自身の人生と、町に住む人々を力づけてくれた猫と本への深い愛情をこめて綴ったエッセイ。

『保護犬・保護猫と 家族になるときに読む本』

ほごいぬ ほごねこ むか
保護犬・保護猫のお迎えサポート／著
メイツユニバーサルコンテンツ 2024年



保護犬・保護猫の飼育を検討している人に向けて、出会い方とお迎えの準備をはじめ、基礎知識やトレーニングなどについて写真やイラストを交えて分かりやすく紹介している。

飼育に必要な費用や道具の紹介だけでなく、保護動物との向き合い方、信頼の築き方も詳細に記載されている。

子猫や子犬を迎えたら、長く一緒に暮らしていくことや、晩年は介護をすることも考えておく必要がある。飼う方法だけでなく、犬・猫の生涯と自分や家族のライフプランを確認し、ライフステージが変化しても一緒に幸せに暮らせるのか、熟考することの重要性に気づかされる指南本。



ちょこっとゆかり文学クイズ

Q:犬好きとして知られるさいたま市ゆかりの歌人、大西民子の愛犬の名は？

- ①パセリ ②ローリエ ③バジル

第25回 現代短歌新人賞

さいたま市が主催し、日本現代短歌界の振興とさいたま市民の文学活動の充実を目的に、歌壇に新風をもたらす歌人を表彰してきた「現代短歌新人賞」。その第25回受賞作が睦月都さんの『Dance with the invisibles』（角川文化振興財団2023年刊）に決まりました。

「現実を丁寧に描写しつつ発想は時として大きな跳躍力を見せる。時間、空間、性別、感情などを粘り強く可視化しようとする作風は清新な詩情を生み出している。意味としらべの融合の美しさにも魅了される歌集である。」

（選考委員長講評 さいたま市ホームページより）



『Dance with the invisibles』

むつきみやこ
睦月都／著

角川文化振興財団
2023年

受賞作品や選考過程については、雑誌「歌壇」2025年3月号（本阿弥書店）に記事が掲載されました。さいたま市図書館でも所蔵していますので、ぜひご覧ください。

図書館 ホームページ



さいたま市ゆかりの文学者たちのページを公開しました！

さいたま市図書館ホームページにて、さいたま市にゆかりのある文学者たちを紹介しています。さいたま市出身の文学者や、在住していた（している）文学者、市が舞台になった作品などを見ることができます。著作の一覧を表示させたり、予約したりすることもできます。

和田竜（わだ りょう） 1969（昭和44）年～



和田竜は、大阪府生まれの小説家です。少年時代は広島に、15歳から東京に、そして、2009年頃よりさいたま市に住んでいます。

2003年に映画『忍ぶの城』の脚本で第29回城戸賞を受賞し、2007年、同脚本を小説化した『のぼうの城』で小説家デビューしました。同作品は2012年に映画化され、大ヒットしました。

その他の作品に2014年に第11回本屋大賞と第35回吉川英治文学新人賞を受賞した『村上海賊の娘』や『忍びの国』、『小太郎の左腕』などの歴史小説があります。

15歳からついこの間まで東京に住んでいましたが、最近、埼玉県の浦和というところに引っ越してきました。

引用：『戦国時代の余談のよだん。』 和田竜／著 ベストセラーズ 2012年 P15

和田竜の著作



<https://www.lib.city.saitama.jp/contents?pid=8346>



ちょこっと
ゆかり文学クイズの答え
（問題はP.3にあります）

A：②ローリエ

「青みさす 雪のあけぼの」の
巻頭に写真が載っています。

編集：さいたま来ぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

<https://www.lib.city.saitama.jp/> 携帯電話用 <https://www.lib.city.saitama.jp/m/> （下の二次元コードを読み込んでください）

北浦和図書館 832-2321	馬宮図書館 625-8831	与野図書館 853-7816	桜図書館 858-9090
東浦和図書館 875-9977	三橋分館 625-4319	与野南図書館 855-3735	大久保東分館 853-7100
美園図書館 764-9610	春野図書館 687-8301	西分館 854-8636	北図書館 669-6111
大宮図書館 643-3701	大宮東図書館 688-1434	岩槻図書館 757-2523	宮原図書館 662-5401
桜木図書館 649-5871	七里図書館 682-3248	岩槻駅東図書館 758-3200	武蔵浦和図書館 844-7210
大宮西部図書館 664-4946	片柳図書館 682-1222	岩槻東部図書館 756-6665	南浦和図書館 862-8568

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町 11-1 TEL 048-871-2100 FAX 048-884-5500

★★編集後記★★

街で耳の一部がカットされた猫を見かけても、心配しないで大丈夫。避妊・去勢手術済みの証として、麻酔が効いた手術中にカットすることが多いそうです。



もっと身近に、
もっとしあわせに



次回発行予定：9月15日（年2回発行）

さいたま来ぶらり通信は、2,000部印刷し、一部あたりの印刷経費は17円です。